

case
01 塗装

ものづくりマイスター 派遣先学校
中嶋 昌則 さん 北海道旭川工業高等学校

ものづくりマイスターの派遣を依頼した理由

手を動かす実技指導で
生徒に良い刺激を与えたい

背景 建築を支える多様な技能を体験してほしい

建築という分野は、非常にバラエティ豊かな職種に支えられています。学校としては、生徒にそうした技能の一つひとつに触れてもらい、建築に対する興味や理解の芽を育てたいと考えています。本校の建築科で、ものづくりマイスターに塗装と木工の実技指導をお願いしているのには、そうした理由があります。塗装については、北海道技能振興コーナーに中嶋マイスターを紹介してもらい、最初はエアスプレーを使用した実技指導をしていただきました。ある時、他校で刷毛を使った塗装を教えていると聞き、「手を動かす実技指導は生徒に良い刺激になるのではないか」と考え、中嶋マイスターと相談して本校でも取り入れることにしました。

効果 手を動かし体験することが大きな刺激に

中嶋マイスターの実技指導では、生徒がとても楽しみながら課題に取り組んでいるのが印象的です。手を動かして技能を体験するということに加え、教員とはまた違った視点で指導していただけるので、新鮮な気持ちで取り組めるのだと思います。笑顔で技能に向き合う生徒の姿を見ることができ、担任としては嬉しい限りです。また、建築業界で活躍している方と知り合えるという点も、社会に出てプラスになるのではないのでしょうか。ものづくりマイスター事業は、マイスターを派遣していただき、私たち教員と連携を取りながら、様々な実技指導をしていただけるので、大変ありがたいです。



北海道旭川工業高等学校
建築科 教諭
はせがわてつや
長谷川 哲哉さん



実践的な塗装技能の指導で
建築分野への理解を深める

北海道旭川工業高等学校

〒078-8804 北海道旭川市緑が丘東4条-1-1-1

設立年 昭和16(1941)年
学校長 太田 潤一
学科 工業化学科、建築科、土木科、電気科、
(全日制) 情報技術科、電子機械科、自動車科
在校生数 約746名(2019年5月現在)



「信頼される人になれ」という校訓のもと、豊かな人間性と広い視野を持ち、進んで社会に貢献する心身ともに健全な工業人の育成に取り組んでいます。技能習得に向けた指導に力を入れており、多くの生徒が電気工事士、ボイラー技士、危険物取扱者、基本情報技術者、施工管理技士といった国家資格の取得に励んでいます。

プログラム内容

実施課題 図形の塗装
目的 刷毛をつかった塗装の体験
受講対象 建築科1年生 40名
ものづくりマイスター 中嶋 昌則

全1回 塗装業の紹介と塗装の実技



概要

「塗装」は、建築物といった被塗装物を塗料によって覆うことで日光や雨などから保護したり、美しく仕上げるための技能です。今回の実技指導では、まず塗装の仕事、塗料や技能の種類といった基礎知識をプロジェクターを使用して座学で習得。次に、実習室で紙に書いた図形の中を刷毛で塗りながら、鈍角や鋭角を塗る時など異なる刷毛の動かし方について学びました。

INTERVIEW

ものづくりマイスターと
受講者が語る

刷毛を手にとることで 技能の楽しさを発見する実技指導

手を動かすことが 発見の連続に

実技指導は、「図形の中を塗料で塗りながら、刷毛の使い方を学ぶ」という内容でした。中嶋マイスターは、技能のほかにも伝えたかったことがあると言います。

中嶋 多くの人は塗装やペンキという言葉を知っているかと思いますが、それを実際に経験する機会はあまりないのではないかと思います。経験のない方からすると、塗装は一見簡単で単純な作業に見えるかもしれませんが、そこには多種多様な技能があり、極めて繊細な刷毛さばきが要求される奥が深いものです。実技指導では、塗装の技能に触れ、その奥深さや建築を支える塗装のおもしろさを体感してもらっています。

目黒 実技指導を受けるまでは、塗るだけなら簡単にできるだろうと思っていました。でも、実際にやってみると、その難しさに驚きました。わずかに力の加減が変わっただけで思うように塗れないので仕上がりが全く変わります。こうしたことは、実際に体験してみないと分かりませんので、良い勉強になりました。

中川 私も自分の手を動かしてやってみると、塗装はこんなに難しいんだとびっくりしました。プロとして活躍する中嶋マイスターの実技指導は、失敗した箇所をリカバリーする方法といったように、普段の勉強では経験できないものも多く、発見の連続でした。

刷毛を自由自在に動かす 実践的なテクニック

塗装の現場では、1本の刷毛を使ってできるだけ多くの場所を塗ります。実技指導では、そうしたプロの仕事に通じるような課題に挑戦しました。

中嶋 例えば、鋭角の場所は、小さい刷毛を使えば誰でも簡単に塗れるでしょう。しかし、鈍角と鋭角の場所を塗るのにいちいち刷毛を持ち変えては、仕事の効率が落ちてしまいます。そこで、鋭角の場所は刷毛の毛先を扇状に広げた状態で塗る、といったテクニックを場面に応じて使い分けていくのです。

佐藤 カーブしているところや、図形の線を消さずに塗るというのが難しかったです。周りのみんなを見ると上手くて、

焦ってしまいました。でも、中嶋マイスターが分かりやすく指導してくださったので、少しは上達したのではないかと思います。

中村 私は、図形の角を塗るのが難しかったです。鈍角の部分はそれなりに塗れたと思うんですが、鋭角の部分はどう刷毛を使っていいのかが分かりませんでした。そうした部分も、刷毛の動かし方などを詳しく指導していただき、少しずつ上手に塗ることができるようになりました。できるようになってくると、楽しくなってきましたね。

中嶋 経験がないと刷毛を一定の力で動かしてしまいがちです。鋭角や鈍角を塗り分ける時には、刷毛にかける力の加減により、毛先の開き方などを調節する必要があります。また、図形の線を消さないようにするのもコツがあります。刷毛の柄を長めに持つのです。そうすることで、



手のブレが伝わりづらくなります。あとは、息を吐いて「ヒュッ」と一気に塗るのもポイントです。そうした難しい方法もありますが、皆さん上手にできていたと思います。

雑務も漫然とやらないことが 仕事を楽しくする

建築科の生徒は、設計や大工、大道具など、それぞれに夢があります。塗装に関する知識は、生徒が夢を追いかける上で重要な意味を持つと言います。

中嶋 塗装の知識を学ぶことは、建築のどの職種に就いても役に立つ場面があると思います。例えば、設計を目指している生徒は、塗装の種類を知っていることで、より具体的にデザインを考えること

ができるはずですが。
佐藤 私は、設計の仕事を目指しています。建物の美しさを考える仕事でもあるため、塗装の方法や種類を覚えておけば、様々な場面で活用できそうです。

中村 私は、大工になりたいと考えています。将来、お客様から塗装について相談を受けることもあると思いますので、その時に今回の経験が役に立ちそうです。

中川 私は、テレビ局やコンサートの大道具担当になるのが夢です。ただ中嶋マイスターの楽しい実技指導を受けたことで、新しい道が開けるきっかけにもなるのではないかと思います。

中嶋 社会で活躍するにあたって、生徒の皆さんには仕事を楽しくしてほしいと思います。塗装には、塗ること以外にも道具を片づけるなどの雑務があります。雑務は、どのような仕事でも当然あるので、

それを嫌にならないで欲しいと思います。私の場合は、掃除をするのにも、どうやったら効率的にできるか、昨日より早く終わらせることができるか、と雑務が漫然とにならないように楽しむためのポイントを作るようにしています。そうすると、毎日の仕事に充実感ができます。生徒の皆さんも、自分で楽しみを見つけて成長して欲しいと思います。



ものづくりマイスター 中嶋 昌則さん

平成26年度 厚生労働省「ものづくりマイスター（塗装職種）（防水施工職種）」認定
指導内容
技能検定（建築塗装）（鋼橋塗装）の1級、2級レベルの実技指導
技能指導の実績
学校向けの塗装職種の技能検定課題などを活用した実技指導

中嶋マイスターは、二十代の頃から塗装の魅力を広めるために奔走してきました。現在は、ものづくりマイスターとして高校で実技指導するほか、ボランティアで旭山動物園の塗装体験イベントにも参加。平成26年にはボルネオで現地の子どもを集めて行われたペンキ塗りイベントに携わるなど、塗装の普及に努めています。



実技指導でも将来の仕事でも、自分で楽しみを見つけて成長してください

ものづくりマイスター
（塗装、防水施工）
なかじま まさのり
中嶋 昌則さん



プロのテクニックになるほどと何度も感銘を受けました

建築科
なかがわ ひより
中川 陽世里さん



こんなに繊細な作業をしているのかと驚きました

建築科
めぐろ りょういち
目黒 諒一さん



難しかった部分も含めて楽しい実技指導でした

建築科
なかむら なみ
中村 奈実さん



体を動かしながら、多くのことを学びました

建築科
さとう ゆうせい
佐藤 侑星さん